彩の国
埼玉県

ほんのなかに、たからもの

令和８年度埼玉県推奨図書

小学校
１・２年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ゆらゆらなじかん



クレア・ヘレン・ウェルシュ/文
フィオナ・ランバース/絵
石津ちひろ/訳
BL出版

引っ越しをした時の不安な気持ち、もやもやした気持ちってどうしたらよいのでしょう？そんな時は、「ゆらゆらなじかん」として楽しむと、新しい発見があるかもしれません。自分にとっての「ゆらゆらなじかん」を一緒に探すことのできる一冊です。

おたすけてんぐ ベンベン



長谷川義史/作・絵
教育画劇

誰にでもある悩み事。そんな悩み事を「おたすけてんぐ」が助けてくれたらどうでしょう？どんな悩みもおたすけてんぐに相談したら、おもしろおかしく解決してくれるはずです。みんなの悩みとおたすけてんぐの活躍を、一緒に覗いてみましょう。

おばけのリーブル あの子はともだち？



おおぎやなぎちか/作
ヒダカナオト/絵
岩崎書店

「あの子はともだち？」と考えたり、悩んだりする相手はいませんか？おばけのリーブルは、自分には「たぶん友達がいない」と思っています。いろいろな出会いを通して、「友達ってこんな感じかな」とリーブルと一緒に考えてみたくなる一冊です。

りょこう



麻生知子/作
福音館書店

こうたくんとおじいちゃんが旅行にお出かけするお話です。本を開いてみると、細かなイラストにびっくりするかもしれません。二人はどこかな？何が描かれているかな？と何度でも読み返したくなる一冊です。読み返す度に、新しい発見があるかもしれません。

どうぶつたちの おひっこし どうやって はこぶのかな？



平山暉彦/作
福音館書店

首の長いきりん、足の細いフラミンゴ、とびはねるカンガルー。たくさんの動物たちは、どのようにお引っ越しするか知っていますか？動物たちの特徴に合わせて、いろいろな方法でお引っ越ししています。飼育員さんの工夫も知ることができる一冊です。

きりんややまあらし、ふらみんごなど、いろんなどうぶつのおひっこしのしかたがわかってうれしかったよ。やまあらしのはりは、あぶないからおひっこしもきをつけないといけないことがわかったよ。ぼくもいつか、どうぶつたちのおひっこしをてつだってみたいな。かぴばらのおひっこしはわからなかったから、こんどしらべてみようとおもったよ。

深谷市立深谷小学校
１年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課
a2905-01@pref.saitama.lg.jp
048-830-2907

図書一覧はこちら

彩の国
埼玉県

文字のむこうに、広がる景色

令和８年度埼玉県推奨図書

小学校
３・４年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

青空小学校やればできるかも勉強会２国語
飼育委員はなにも読まない



小松原宏子/作
あわい/絵
静山社

国語の授業って何を勉強するんだろう。人の気持ちを考えることが苦手なアキラは、自分の発言でトモくんとの関係がぎくしゃくしてしまう。今までだったらそんなことも気にならなかったのに……。気持ちを言葉で伝えることの大切さについて考えさせられる物語。

動物感動ノンフィクション
まぼろしの動物 ニホンオオカミ
小学生、なぞのはくせいの正体を追う



たけたにちほみ/文
川田伸一郎/監修
坂口友佳子/イラスト
石松あや/デザイン
Gakken

「こ、これって……。」絶滅動物が好きな小学4年生の日菜子さんが見つけたのは、100年以上前に絶滅した、世界に5体しかないニホンオオカミのはくせいではないのかー。好きなものを「究める」姿にぐんぐん込まれる。果たして、はくせいの正体は…。

ある星の汽車



森洋子/作
福音館書店

モーリシャスドードーが「1681」と書かれた駅で下車し、汽車からは一人、また一人と乗客が減っていく。もう会えない生き物たち、会えなくなるかもしれない生き物たちの姿に「ぼくたちはいつまでのっていられるの？」と深く考えさせられる一冊。

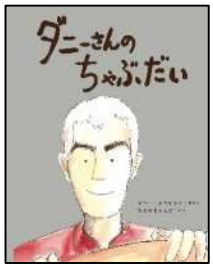
イタチと野ネズミのはなし



山下雅洋/文
しもかわらゆみ/絵
アリス館

イタチの前から、共に過ごした野ネズミがいなくなるところから物語は始まるー。イタチと野菜スープ作りが得意でおしゃべりな野ネズミが心を通い合わせた四季と、野ネズミがいない四季を交互に描く。かけがえのない存在との向き合い方を教えてくれる作品。

ダニーさんのちゃぶだい

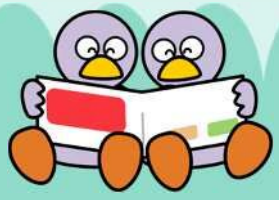


ダニー・ネフセタイ/企画
なるかわしんご/作
イマジネイション・プラス

あそこには「てき」がいる。―ほんとうに？生まれた場所が違っても、話す言葉が違っても、「てき」なんて本当はどこにもいない。角のない場所でみんなでまるく仲良くなれるようにという平和への願いを込めて、ダニーさんは今日もちゃぶだいを作り続ける。

このお話は、話す言葉がちがっても「てき」なんて本当はどこにもいないということを教えてくれるお話です。このお話に出てくるダニーさんは、18才でぐんたいに入り、へいたいになりました。そして、ダニーさんとまわりの人たちは、みんなで国を守らないといけないと教えられていました。このお話の中でぼくが一番すきなところは、日本でくらしながら家具を作っているうちに、生まれた場所がちがっても、話す言葉がちがっても「てき」なんて本当はどこにもいないとダニーさんが気づいたところです。なぜかというと、ダニーさんが日本でちがう国の人とすごしているうちに、きずつけていい命はなくて、みんな同じ人間だと気づくからです。ぼくはこの本を読んで、ダニーさんのように気づく人がふえるといいなと思いました。

吉川市立吉川小学校
４年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

図書一覧はこちら

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課
a2905-01@pref.saitama.lg.jp
048-830-2907

彩の国
埼玉県

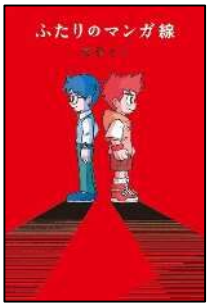
開けば、そこは別世界

令和８年度埼玉県推奨図書

小学校
５・６年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

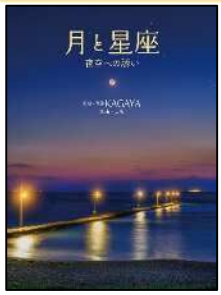
フレーベル館 文学の森
ふたりのマンガ線



庭野るう/作
フレーベル館

中学受験を予定している成績優秀な錬磨は、友達付き合いをせず学校で孤立している。一方足が速くて運動が得意で、友達の多い秘。生まれ育つ環境も性格も正反対の錬磨と秘。なぜかふたりでマンガを描くことに。ひたすら描くマンガの線が、いつしかふたりの心をつないでいく。

月と星座
夜空への誘い



KAGAYA/ 監修・写真
山下美樹/文
金の星社

月と星座のガイドブック入門。息をのむほど美しい星空の写真と優しい解説で、読者を天然のプラネタリウムへ案内してくれる。満天の星、移り変わる月、神話の世界へとつながる星座たち。初心者にもわかりやすく、すっと星の世界の入り口を開いてくれる一冊。

ガリレオとアントニ
遠くをみた科学者と近くをみた科学者



メアリー・アールド/文
エイドリア・メサーブ/文
エイドリア・メサーブ/絵
千葉茂樹/訳
光村教育図書

望遠鏡で夜空の彼方を見つめたガリレオと、顕微鏡で一滴の水の中を見つめたアントニ。レンズをとおして誰も見たことがないものを見ようと奮闘した二人の科学者。遠くか、近くか、いずれも自分の興味を探究し、今までの常識を変えていった。

ティーンズ文学館
あの日、ともに見上げた空



黒田季菜子/作
トミイマサコ/絵
Gakken

小学５年生の伊吹は、さまざまな立場の人々と手を取り合う中で、「ありがとう」の本当の意味や人との繋がりの愛おしさに気づいていく、心温まる物語。「多様性」や「誰かと生きることの尊さ」について、考えるきっかけになる一冊。

原発災害は今も それでも「ふるさと」
消える風景 明日へのねがい

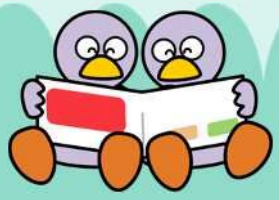


豊田直巳/著
農山漁村文化協会

福島原発事故によって無人の町になった大熊町や双葉町。その土地で生まれ育った人たちは、「いつかもう一度田畑を耕したい」と切に願っている。原発災害に「ふるさと」を追われた、福島の多くの人々の「現実」と「願い」は、私たちと深くつながっている。

あたりまえの日常が一瞬でうばわれる怖さと、思い出のつまったふるさとが別の姿に変わってしまう悲しさを知りました。15年経った今でも原発事故の痕跡が残っていることや、福島の復興のために土地を提供しなければいけない人がたくさんいたという現実に、胸が痛みました。この本を読んで、福島の「本当のいま」と「これからの未来」をみなさんにも自分の目で確かめて知ってほしいです。

所沢市立清進小学校
６年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

図書一覧はこちら

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課
a2905-01@pref.saitama.lg.jp
048-830-2907